

富良野・美瑛

ちょっと暮らすように旅をする～ふらのびえい田園休暇街道

～富良野・美瑛 広域観光圏整備計画～

【目次】

1. 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する基本的な方針 …	2
(1) 富良野・美瑛を取り巻く現状と課題 ……………	2
(2) 富良野・美瑛広域の SWOT 分析 ……………	6
(3) 課題解決の方向性 ……………	7
(4) 地域としての戦略方針 ……………	7
2. 観光圏の区域 ……………	8
3. 滞在促進地区の区域 ……………	8
4. 観光圏整備計画の目標 ……………	9
5. 観光圏整備事業に関すること ……………	11
(1) 宿泊拠点魅力アップ事業 ……………	11
(2) 体験イベント事業 ……………	12
(3) 環境保全・景観整備事業 ……………	12
(4) 人材育成事業 ……………	12
(5) 公共交通活性化事業 ……………	12
(6) 案内・情報発信事業 ……………	13
(7) マーケティング・プロモーション事業 ……………	13
6. 計画期間等 ……………	13
7. その他市町村又は都道府県が必要と認める事項 ……………	13
8. 協議会に関する資料等 ……………	13
9. 住民その他利害関係者の意見を反映させるための措置及び反映内容 ……………	13
参考資料 ……………	14

添付資料

- ① 協議会規約
- ② 協議結果
- ③ 圏域図
- ④ 観光資源と滞在促進地区の相関図
- ⑤ 6つの街道と10の寄り道ルート図

富良野・美瑛

ちょっと暮らすように旅をする～ふらのびえい田園休暇街道

～富良野・美瑛 広域観光圏整備計画～

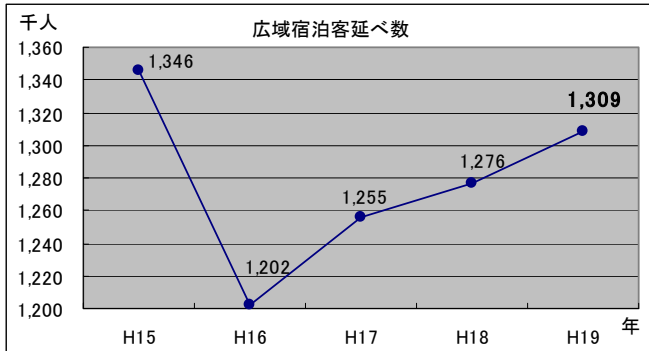
1. 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する基本的な方針

(1) 富良野・美瑛を取り巻く現状と課題

① 宿泊客延べ数の推移

◎ 広域宿泊客延べ数

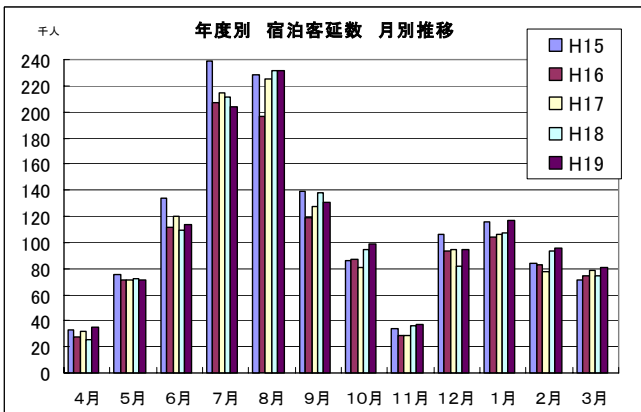
- ☆ H16 から年3%の増加傾向
- ☆ 海外客の宿泊客が起因



→課題は、年3%増加の維持

◎ 年度別宿泊客延べ数【月別推移】

- ☆ 月別では、冬の宿泊延べ数増加が増加要因
- ☆ 8月(夏休み)が増加傾向
- ☆ 9月10月(秋)も増加傾向



資料：平成19年度観光入込調査

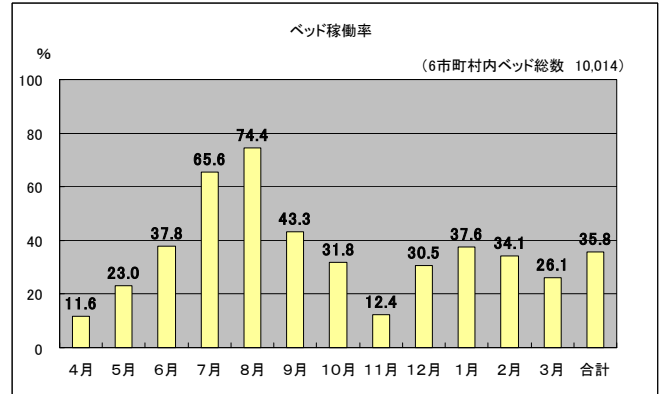
→7月の減少傾向

春秋が弱い。特に4月、11月

ベッド稼働率

◎ ベッド稼働率

- ☆ 夏でもまだ余裕があり、8月の夏休み時期がピーク

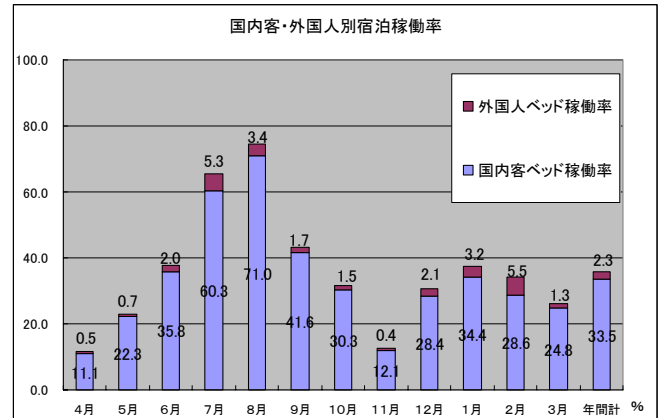


資料：平成19年度観光入込調査

→8月と11月の6倍の格差を埋めることが課題
最終目標は、通年での高稼働率化

◎ 国内客・外国人別宿泊稼働率

- ☆ 7月・2月に占める外国人割合が多い
- ☆ 8月の高稼働率は国内の夏休みが大きい

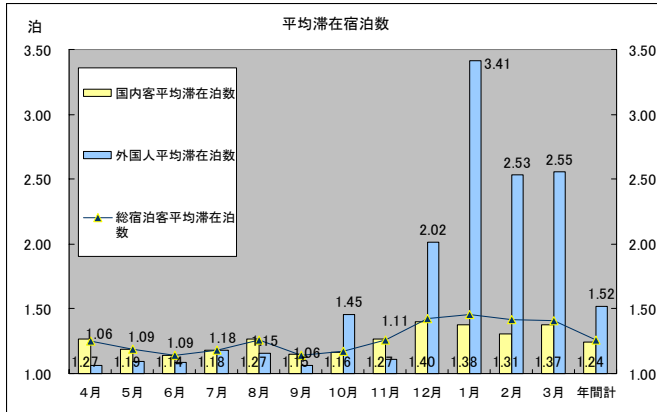


資料：平成19年度観光入込調査

→課題は、外国人割合の通年化
特に春、秋は日本人同様の傾向

◎ 平均滞在宿泊数(国内客・外国人客別)

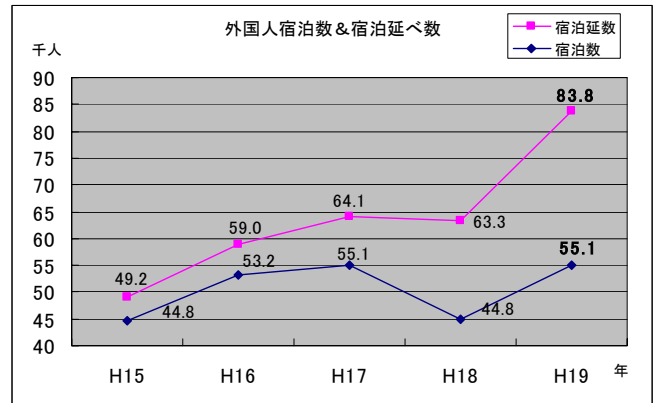
- ☆ 冬の長期滞在泊数が多い
- ☆ 外国人の長期滞在が要因



→課題は、夏の長期滞在化

◎ 外国人宿泊数&宿泊延べ数

- ☆ VJCと連動してH19年度は大幅な増加
- ☆ 宿泊のべ数の増加



→課題は宿泊者数の増加

③ 外国人観光客

☆東アジアからの人気が高く3ヶ国で8割を占める

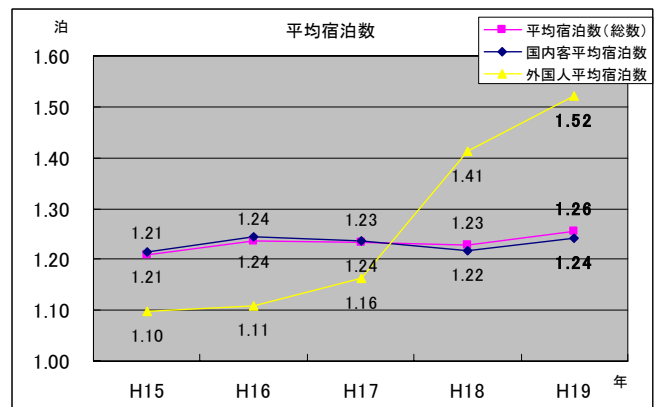
順位	国	宿泊人数	構成比
1	台湾	24,947	45.3%
2	香港	18,807	34.1%
3	韓国	3,908	7.1%
4	オーストラリア	2,687	4.9%
5	その他アジア	1,616	2.9%
6	中国	942	1.7%
7	シンガポール	858	1.6%
8	アメリカ・カナダ	503	0.9%
9	ヨーロッパ	438	0.8%
10	その他	417	0.8%

資料:平成19年度観光入込調査

→課題は、中国・韓国・オーストラリアをどう増やすか

◎ 平均宿泊数(国内客・外国人別)

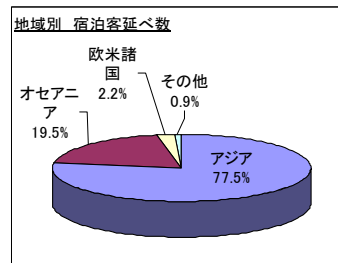
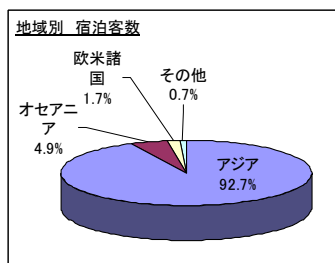
- ☆ 国内客の平均宿泊数は変わらず
- ☆ 外国人の平均宿泊数は増加



→課題は、国内客の宿泊数増加

◎ 地域別宿泊客数・延べ数

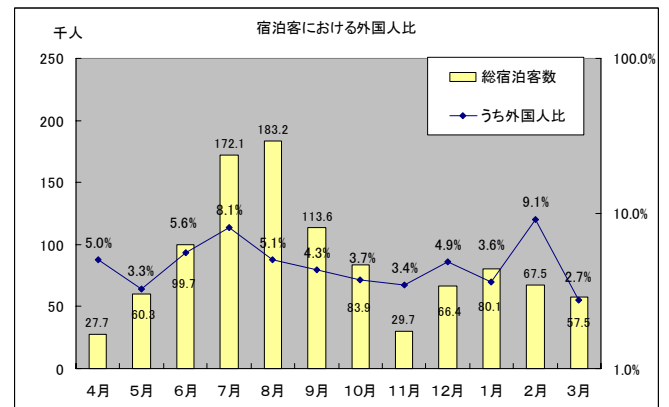
☆ オーストラリア人による冬の宿泊延べ数の増



資料:平成19年度観光入込調査

◎ 宿泊客における外国人比

☆ 7月と2月に外国人比率が高い・・・が平準化

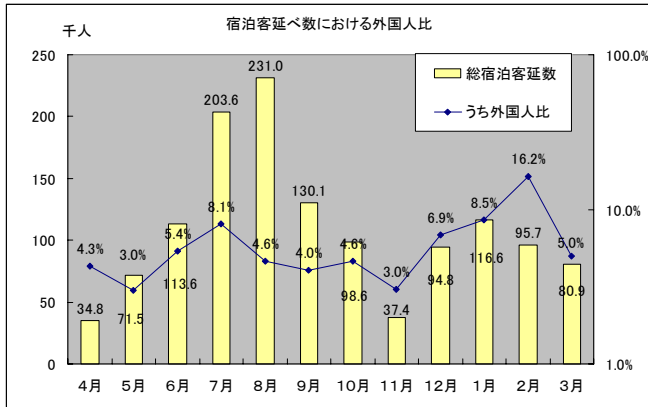


資料:平成19年度観光入込調査

→課題は、春と秋

◎ 宿泊客延べ数における外国人比

☆ 外国人宿泊延べ数割合は2月が特に高い



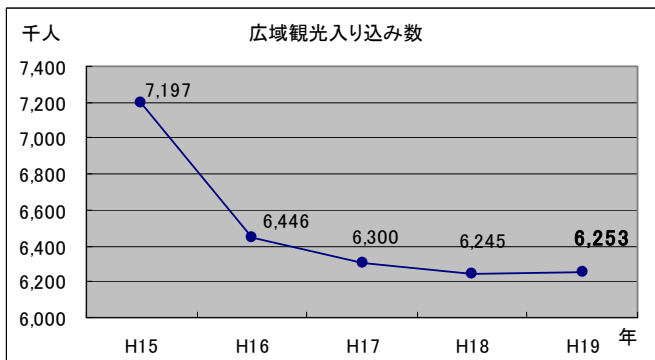
資料：平成19年度観光入込調査

→課題は、春と秋

④ 観光客入り込み数の推移

◎ 広域観光入り込み数

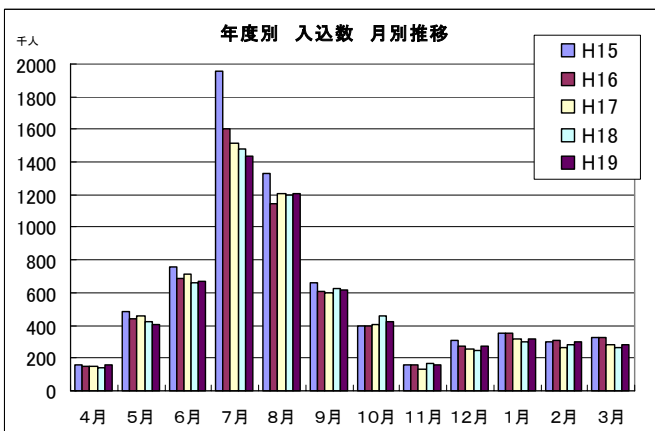
☆ H14年度をピークに減少傾向・・・伸び悩む



→課題は、入込み客数の増加

◎ 年度別入込数【月別推移】

☆ 月別では7月の減少が大きい



資料：平成19年度観光入込調査

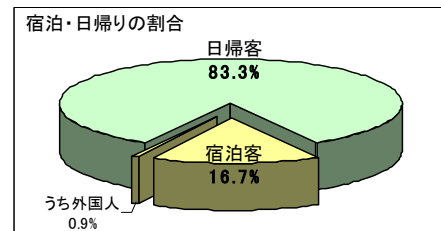
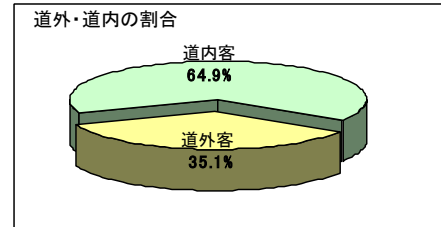
→課題は、7月の大幅な減少ストップと冬の増加

⑤ 広域の観光客の特徴

◎ 道外・道内別、宿泊・日帰り別構成比

☆ 道内・道外：3：2

☆ 日帰り・宿泊：6：1～日帰り客が中心

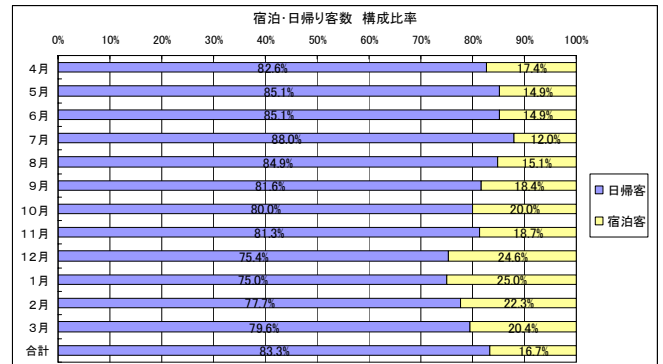


資料：平成19年度観光入込調査

→課題は、日帰り客を1泊させること

◎ 宿泊・日帰り客数構成比【月別】

☆ 夏は日帰りが多く、冬は宿泊の割合が多い



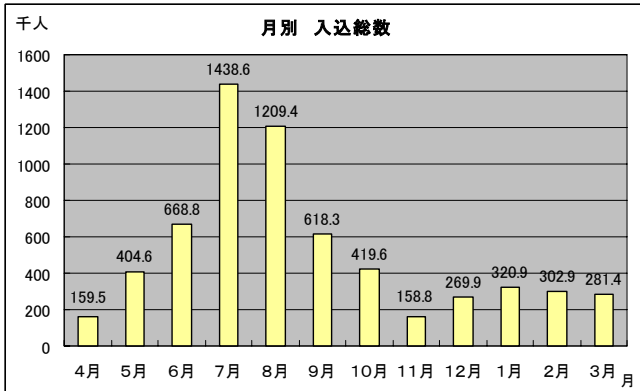
資料：平成19年度観光入込調査

→課題は夏の日帰り客の宿泊化

⑥ 月別 観光入り込みの状況

◎ 月別入り込み数

☆7、8月の夏に集中

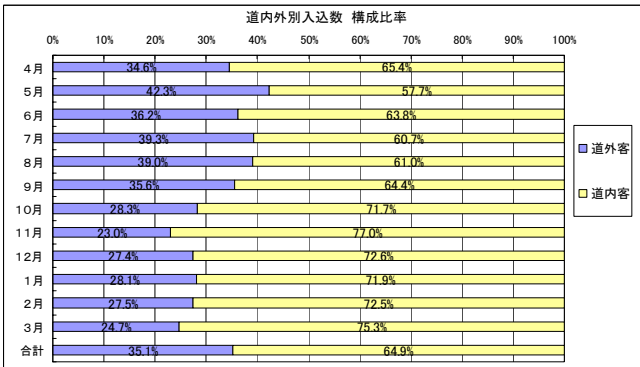


資料：平成19年度観光入込調査

→課題は、冬が弱く、特に4月、11月の春・秋が弱い

◎ 道内外別入り込み数

☆夏は道外客の割合が多く、春・冬は道内容



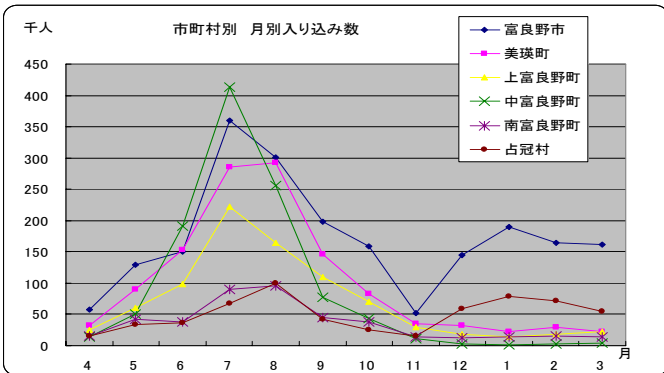
資料：平成19年度観光入込調査

→夏の道内容増と冬の道外客の増

⑦ 市町村別 月別入り込み数

◎ 市町村別入り込み数【月別】

☆夏は花観光エリア、冬はスキーエリアに集中



資料：平成19年度観光入込調査

⑧ 自然景観の保護

☆農業・林業・自然景観の保全が課題

本地域は、大雪山国立公園十勝岳連峰と日高山系からなる雄大な自然に囲まれ、また東大演習林などの広大な森と農業を基幹産業とする希少性高い自然形態を有する地域であり、それらの保全・活用が大きな課題である。

⑨ 観光客のニーズは「食」

☆ニーズは「食」「自然景観」「温泉」

旬な食材を活かしきれておらず、「ここでしか食べられないもの」、「こだわり料理の創出」が課題として上げられる。

⑩ 交通アクセスの改善

☆便数・路線が少なく、不便な交通インフラ

「夏のピーク」は渋滞を生み、冬は雪に閉ざされる。観光施設は郊外に多く、各観光施設間は離れており、便数も少ない。効率的な観光ができず、観光客だけではなく住民にも不便である。

⑪ 体験型の修学旅行生

☆10年後のリピーター確保のために

富良野・美瑛で自然、農業、スキーなどのアウトドア体験を学び、良い思い出となる修学旅行は、将来のリピーターとなり、富良野・美瑛産の食材の購入、口コミ宣伝マンにもなることから、より一層の修学旅行の誘致強化と受入環境の充実を図る必要がある。

(2)富良野・美瑛広域のSWOT分析

～観光の強み・弱み・機会・脅威～

富良野・美瑛広域の強み・弱み

強み (Strengths)

- ・ ヨーロッパを思わせる自然景観・丘の風景
- ・ 大雪山系十勝岳連峰十日高山系などの雄大な山岳地帯と東大演習林を含む森林地帯
- ・ 北海道のほぼ中央に位置し、札幌圏・旭川圏へのアクセスも良く、空港とも近い地理条件
- ・ 白銀世界・良質な雪質と国際的なスキー場
- ・ パンダをはじめとする花々
- ・ 十勝岳を中心とする温泉（白金・十勝岳）
- ・ 空が広く、空気がきれいなイメージ
- ・ 感動とグリーンなイメージを発信した先駆者（前田真三・倉本聡・富田忠雄）
- ・ 空知川+かなやま湖を中心とする川・湖でのアクティビティ体験が豊富
- ・ 北の国からの大地+富良野塾の演劇ライブ
- ・ 獲れない物はない野菜王国
- ・ 上富良野の豚・富良野牛・カレーの取組
- ・ 占冠の山菜や通年型の大型リゾート施設
- ・ よそ者を受け入れる風土

弱み (Weaknesses)

- ・ 観光客の夏期集中による渋滞
- ・ 公共交通アクセスの不便
- ・ 外国人対応など観光案内機能の不足
- ・ 夜の観光の魅力不足
- ・ 観光関係機関のネットワーク不足
- ・ 観光客の滞在満足度不足
- ・ 雪による冬季生活が不便
- ・ 自然環境の破壊
- ・ 本州と比べて歴史が薄い
- ・ 特徴ある料理がない
- ・ 名物となるお土産が少ない
- ・ 歩いて回れる観光施設が少ない
- ・ 宿泊施設料金に多様性がない
- ・ 長期滞在用の宿泊施設が少ない
- ・ イメージ先行

今後の想定される機会 (Opportunities)

- ・ エコツーリズム・スロツーリズムなどの追い風
- ・ 団塊世代の退職に伴う市場拡大
- ・ 国のビジット・キャンペーンによる外国人観光客（東アジア）の増加
- ・ 中国・オーストラリアをはじめとするアジア太平洋経済の発展にともなう観光マーケットの拡大
- ・ 旭川空港の国際化・韓国直行便就航
- ・ 北の国からの台湾・韓国放送
- ・ 高規格道路の開通による旭川圏のアクセス拡大
- ・ 高速道路開通による十勝圏・札幌圏のアクセス拡大
- ・ スカイウェイライン参入による低価格化

今後の想定される脅威 (Threats)

- ・ ペンション・ホテル・飲食店の担い手不足
- ・ 交通渋滞などによる住民の歓迎意識の低下
- ・ 他の観光地との競争激化
- ・ 十勝岳・BSEなどの自然災害・風評被害
- ・ 原油高による航空賃・ガソリンの高騰
- ・ スキー人口の減少
- ・ 観光インフラの整備
- ・ 人口減少による旅行者減
- ・ 若者の旅行離れ
- ・ 高速道路開通による空洞化
- ・ 乱開発による自然環境の破壊
- ・ 農業の担い手不足による農地の荒廃

(3)課題解決の方向性

① 宿泊延べ数 150 万人の観光交流地域を目指します。

- ・ 宿泊延べ数150万泊を目差し、年3%増加を目指して、滞在型観光地づくりを目指します。
- ・ また、「一年を通して、泊まる・体験する・交流する・楽しむ」をキーワードに、広域のスケールメリットを活かし、多様なニーズに対応しながら、150万人の人々が交流する観光地域づくりを目指します。

② 住んでよし、訪れてよしの地域づくりを目指します。

- ・ 観光客が、いつでもどこでも簡単に観光情報入手でき、一人歩きできる情報発信と、安心して観光できるインフラ整備を目指します。
- ・ 住民や観光客にとって「安全・安心」でかつ地域が活性化する「感動と満足度の高い」観光振興を図り、点ではなく線・面としてのPR戦略を実施します。

② 環境にやさしい観光を推進します。

- ・ 「自然・農業・森林環境」を大事な財産として、未来に引き継ぐため、環境にやさしい地域を目指します。

④ 広域のスケールメリットを活かし「FURANO・BIEI」 として外国人観光客誘致を積極的に行います。

- ・ 国・道等と連携し、産業・文化両面の活発な国際交流を目指し、外国人観光客の一層の増加に取り組めます。

(4)地域としての戦略方針

①テーマ

「ちょっと暮らすように旅をする
～ふらのびえい田園休暇街道

②戦略

☆富良野・美瑛「らしさ・強み」を全面的に

- ・ 北海道の中でも差別化を図り、強みである「花・丘・田園風景・雄大で多様性のある自然環境」を軸に、長期でゆっくり・年間とおして様々な四季が楽しめ、様々な体験交流、旬の食材などを「地域らしさ」「ここでしかない独自の魅力」「顧客ニーズにあったサービス」「質の高い、期待以上のサービス」により「ここにしかない感動」を演出いたします。

☆「6つの街道物語」と「10の寄り道」ルート

- ・ 魅力ある滞在地を結んだ「6つの街道」を自在に周遊してもらい、それぞれの滞在地から「10の魅力的な寄り道ルート」を設定し、2泊3日の田園休暇を満喫してもらいます。 → マップは別添

③ 7つの具体的方向と事業

1) 長期滞在・短期定住環境の整備
～宿泊拠点魅力アップ事業

2) ふらのびえい発「すごしたかった日常の演出」
～体験イベント事業

3) 環境に優しい地域づくり
～環境保全・景観整備事業

4) ホスピタリティ向上への人材育成
～人材育成事業

5) 多様な公共交通アクセス網の整備
～公共交通活性化事業

6) 情報提供システムの構築とネットワーク化
～案内情報発信事業

7) 国際競争力のある地域づくりのための
マーケティング&プロモーション
～マーケティング&PR誘致事業

④ターゲット別の戦略方向

A.道内

☆JR 北海道・ふらのバスなど公共交通との連携

- ・リピーターを増やすため、特に札幌・旭川圏からの家族層や訪問率の高い若年層などの1泊2日訪問・宿泊率を増やす。
- ・特に、春4月・秋11、12、1月の集中キャンペーン
- ・目的別は、温泉・アウトドア・花・アート・食・ウォーキング

B.道外

☆JAL・ANA・AIRDO・商船三井フェリー・JRとの連携

- ・個人客の長期滞在へ向け、ITを活用した情報発信機能の強化が重要。
- ・若年層は、修学旅行生・農業体験の拡大PR
- ・首都圏を中心とした団塊世代50～60代への長期滞在を促すプロモーションを行う。
- ・冬の魅力発信を重点的に行う。
- ・関西・九州圏・沖縄へのプロモーションも検討し新規顧客開拓
- ・目的別は、ドライブ・サイクリング・食・花・アウトドア・温泉

C.海外

☆JAL・ANA・JR 北海道との連携

- ・海外は、東アジア中心により広く周知・認知へ向けた招聘・情報発信の強化
- ・台湾は、ITFを中心とした現地PRとドライブ・冬の情報発信
- ・韓国は、旭川空港の直行便開設により、夏は、花観光とゴルフ。冬はスキーと体験アクティビティのPR
- ・オーストラリアは冬のオール北海道広域連携。
- ・EU圏からのスキーリゾートを中心とした誘客。
- ・香港は、メディアを使った広告宣伝(ドライブ情報)。
- ・中国・シンガポールは、情報収集によるマーケティング・情報発信を行い、積極的なプロモーション展開。

D.地域住民(6市町村間)

- ・「住んでよし、訪れてよし」により、まずは地域内の人々の交流を促進。
- ・地元住民が体験・交流する企画を支援し、地域間イベントの周知・連携・周遊化を検討。

2. 観光圏の区域

- ・美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市
- ・南富良野町・占冠村の6市町村

3. 滞在促進地区の区域

(1)美瑛地区:美瑛町

宿泊施設数:61

(理由)丘ごとに観光スポットおよび宿泊施設が全町に分散していることから、美瑛全域を滞在促進地域に指定。

(住所)

上川郡美瑛町天人峡～忠別第2～忠別第1～朗根内～朗根内更正～朗根内町内～横牛第2～横牛第1～赤羽～下宇莫別第二～下宇莫別第三～下宇莫別第五～北瑛第二～北瑛第三～夕張～美田第二～瑠辺薬第三～瑠辺薬第一～瑠辺薬第六～瑠辺薬北斗～瑠辺薬栄進～瑠辺薬平和～美馬牛大成～美馬牛市街地～新星第三～新星平和～新星妙見～常盤～御牧～美沢双葉～美沢美生～白金～置杵牛協英～上宇莫別藤山～俵真布第三を囲む地域

(2)上富良野地区:上富良野町

宿泊施設数:6

(理由)温泉を中心とした地域。

十勝岳の良泉により満足度が高い地域。

(住所)

空知郡上富良野町十勝岳温泉～新町4～西2線を囲んだ地域

(3)中富良野地区:中富良野町

宿泊施設数:20

(理由)田園景観と花観光、宿泊がバランスよく点在しアクセスの利便性が高い地域。

(住所)

空知郡中富良野町 奈江～吉井～ベベルイ～西中東4線を囲んだ地域

(4)北の峰地区:富良野市
宿泊施設数:43

(理由)スキー場を中心としたリゾート地区
(住所)
富良野市島ノ下～北の峰町19～中御料地区を囲んだ地域

・中心街地区:富良野市
宿泊施設数:14

(理由)市内中心部でありJR利用者や利便性など
長期滞在を行うインフラが整う地区
(住所)
富良野市清水山～緑町8～若松町7～末広町8を囲んだ地域

・麓郷・山部・東山地区:富良野市
宿泊施設数:8

(理由)ドラマロケ地や観光施設が点在し、自然景観も良く農村地区にあり、農村交流や自然体験・キャンプの拠点となり長期滞在が可能な地域
(住所)
富良野市東麓郷1～字布礼別～字山部市街地 1条通～西達布 2175 を囲んだ地域

(5)かなやま湖地区:南富良野町
宿泊施設数:2

(理由)かなやま湖を中心とした湖畔リゾート地区でキャンプ場やコテージなど長期滞在型リゾート地区
(範囲)
空知郡南富良野町字東鹿越

・幾寅地区:南富良野町
宿泊施設数:3

(理由)幾寅駅を中心として、映画のロケ地・飲食店・利便性やアクセスなど長期滞在のインフラが整う地区
(範囲)
空知郡南富良野町字幾寅

(6)トマム地区:占冠村
宿泊施設数:7

(理由)通年型の大型リゾートを有し、長期滞在に適した地区
(住所)
勇払郡占冠村字上トマム～中トマム

・占冠地区:占冠村
宿泊施設数:4

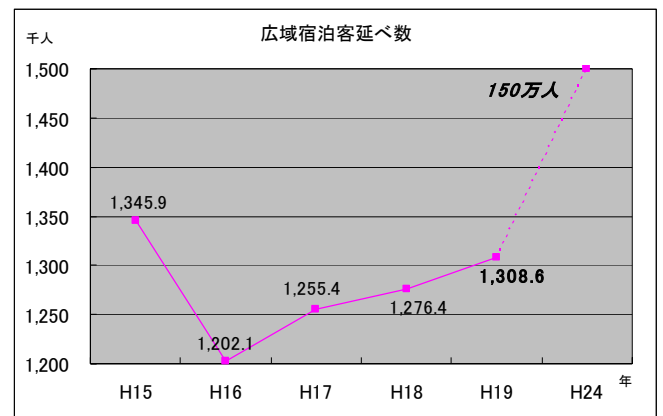
(理由)温泉や豊富な自然資源となり体験型観光の核となる地区
(住所)
勇払郡占冠村字ニニウ～中央～パンケシュル

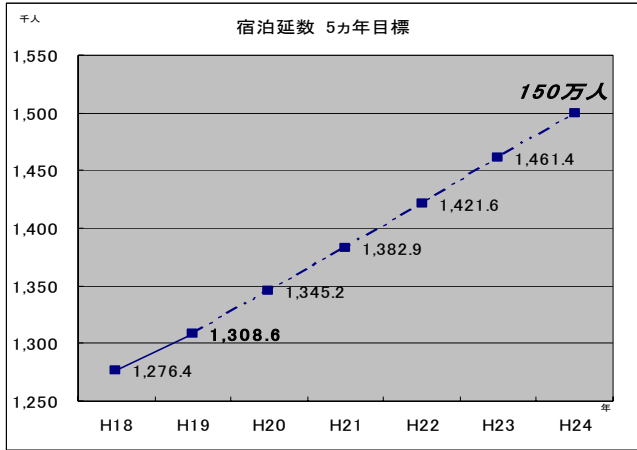
4. 観光圏整備計画の目標 ～H20年度～H24年度までの5カ年目標

地域観光圏の最終的に目指すところは、地域における観光の推進であり、その達成度は数値により表しがたいものですが、取組の効果を具体的に評価・検証できるように、「宿泊延べ人数の向上」・「観光の入り込み数」等により交流人口を増やしていき「一人当たりの平均宿泊数を上げる」と「宿泊稼働率を向上していくこと」を目標に進めていきます。

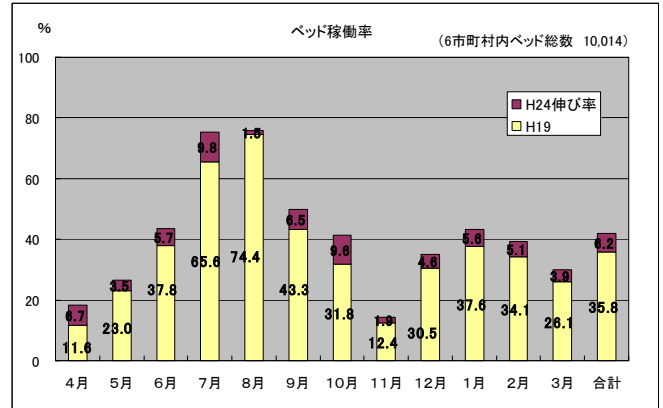
「150万人 交流計画」

(1)宿泊延べ数
宿泊延べ数 →H24年度:150万人(115%増)
現状 H19年度:131万人(H18:128万人)



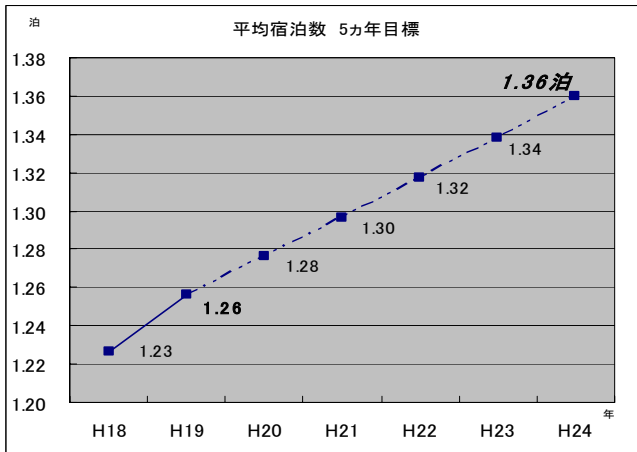
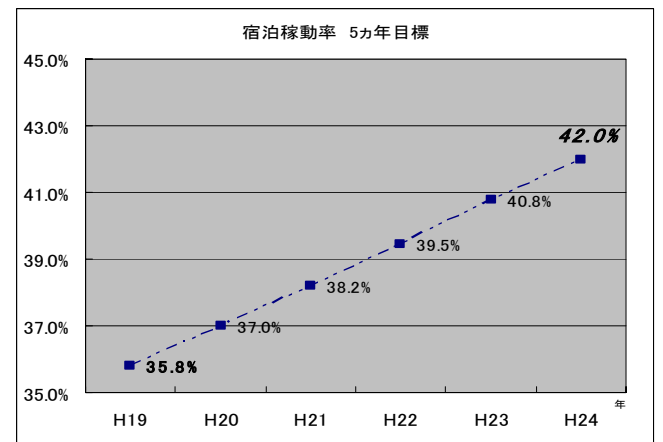
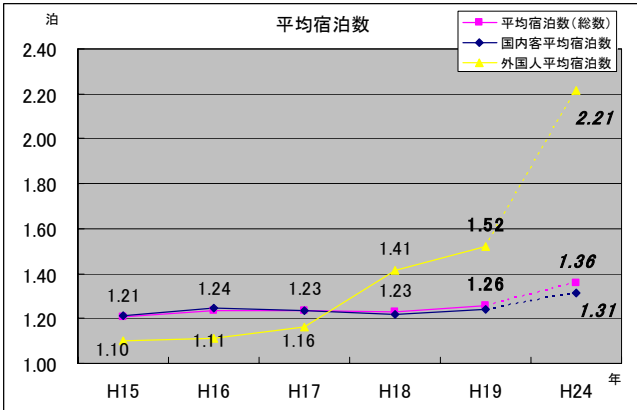


(3) 宿泊稼働率
宿泊稼働率 →H24年度：**42% (115%増)**
 現状 H19年度：35.8%

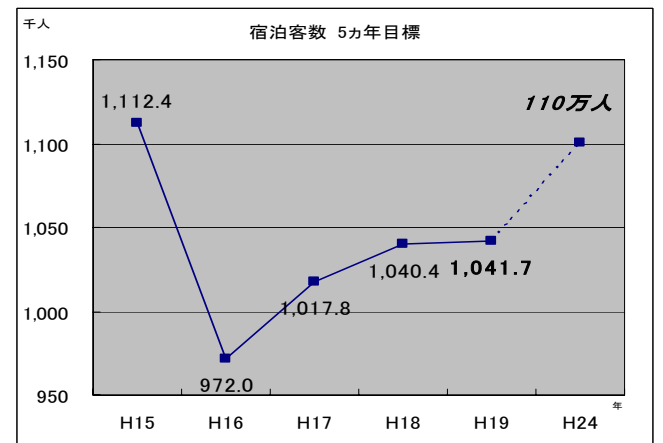


資料：平成19年度観光入込調査

(2) ひとり当たり平均宿泊数
平均宿泊数 →H24年度：**1.36泊 (107%増)**
 現状 H19年度：1.26泊 (H18：1.23泊)



(4) 宿泊数
宿泊数 →H24年度：**110万人 (105%増)**
 現状 H19年度：104万人 (H18：104万人)



	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	年伸び率
宿泊数	1,040.4	1,041.7	1,053.2	1,064.7	1,076.5	1,088.3	1,100	*1.1%
総宿泊延数	1,276.4	1,308.6	1,345.2	1,382.9	1,421.6	1,461.4	1,500	*2.8%
平均宿泊数(総数)	1.23	1.26	1.28	1.30	1.32	1.34	1.36	*1.6%
宿泊稼働率		35.8%	37.0%	38.2%	39.5%	40.8%	42%	*3.3%
入込総数	6,245.2	6,252.7	6,396.5	6,543.6	6,694.1	6,848.1	7,000	*2.3%

(5) 地域住民等を中心とする持続可能な観光まちづくりを主体とした継続的・自立的な活動体制を確立するための目標

- ① ボランティアの育成・拡大
 - ・ 観光ボランティアの育成とスキーホストの拡充など、観光関連のボランティアを拡大する。
 - ・ 現在、3 団体 77 名のボランティアが存在。将来的には、ニーズの高い美瑛地区で 1 団体を増やし、100 名のボランティア体制を整える。
- ② ガイドマニュアルの作成
ガイドマニュアルの作成を行い、観光アドバイザー（ガイド）の育成を図る。
- ③ 環境観光副読本の作成
将来、地域の観光を担う人材育成として、各小学校の総合学習でも使える「観光&環境副読本」を作成し、おもてなしの心と自然保護の観点から地域の資源を守る取り組みを実施する。

5. 観光圏整備事業に関すること

(年度) ◎：実施主体

(1) 宿泊拠点魅力アップ事業

① 冬の宿泊延泊キャンペーン

閑散期である冬季間に宿泊延べ数を増やす目的で、宿泊施設が広域連携して受入のキャンペーンを実施する。(H20 年度～21 年度) ◎各観光協会他

② 観劇キャンペーン

長期滞在を促進し、地元生活文化を理解してもらうため、富良野塾の舞台芸術を鑑賞してもらい理解を深めもらう。(H20 年度～21 年度) ◎ふらの観光協会他

③ 国際交流イベント

日本文化、富良野美瑛の伝統文化を通して地元住民と外国人観光客の交流を促進する。
地元文化団体による国際文化交流イベントの開催
(H20 年度～21 年度) ◎ふらの観光協会他

④ 温泉キャンペーン

宿泊延べ数を増やす目的で、地域内の温泉を結んだ温泉キャンペーンを実施し、温泉間を結ぶ湯巡りパスの発行検討を行う。(H20 年度～21 年度)
◎各観光協会・冬の富良野美瑛を考える実行委員会他

⑤ 羽田空港プロモーション

冬の富良野美瑛の宿泊キャンペーン等を告知する目的で、国内航空需要の拡大と宿泊旅行の拡大を目的として連携し首都圏でのプロモーションを実施し、販売促進を実施し、閑散期の市場調査もあわせて実施。
(H20 年度)
◎美瑛町・南富良野町・占冠村・ANA 他

⑥ 九州・沖縄プロモーション

冬の富良野美瑛キャンペーンを告知する目的で、まだ北海道にきたことがない市場の新規開拓を目的として、九州（福岡）・沖縄のプロモーションを行い、販売促進を実施 (H20 年度)
◎南富良野町・占冠村・上富良野町・JAL・ANA・JR 北海道他

⑦ エンターテインメントブック作成

エリアの体験、イベントを掲載した広域のエンターテインメント情報冊子を作成し、長期滞在者のニーズを図る。パンフレット(日・英・韓) (H20 年度)
◎ふらの観光協会他

⑧ 雑誌広告

道内容を狙った冬の体験キャンペーン、ちよっくら旅の詳細を、じゃらん北海道に掲載キャンペーンPRをし、販売促進を図る。(H20 年度)
◎事務局(富良野市)・上川観光連盟他

⑨ 宿泊拠点整備事業

宿泊拠点の稼働率を上げるため、WEB 対応の環境整備を行い、遅れている宿泊予約のインフラ対応を行う。
(H21 年度～22 年度) ◎各観光協会他

⑩ 地産地消メニュー開発事業

宿泊拠点の食の魅力を上げるため、一宿一品キャンペーンなどのイベントを実施 (H22 年度～23 年度)
◎各観光協会・JA 他

⑪ 泊食分離事業

宿泊拠点と飲食店の連携により、2泊以上の滞在促進をするための泊食分離キャンペーンを実施
(H23 年度～24 年度)
◎各観光協会・飲食店組合他

(2)体験イベント事業

①ちよっくら旅 2008 秋～冬

宿泊延べ数を増やす目的で、現地発の体験旅行商品の開発を行う。(H20 年度) ◎事務局(富良野市)他

②招聘

ちよっくら旅を中心に新規企画の PR として、道外からの誘客を図るため、アクセスとなる旅行会社(航空会社・フェリー会社)の商品担当者を招聘し、全国担当者への PR、商品企画を行う招聘開催(H20 年度)
◎事務局(富良野市)・JAL・ANA・JR 北海道・フェリー一他

③ 修学旅行プロモーション

体験観光の PR と閑散期の宿泊者数を伸ばす目的で、教育旅行社でのプロモーションを実施し、販売促進を実施。(H20 年度～21 年度) ◎ふらの観光協会他

④ 「6つの街道」キャンペーン

広域圏内の滞在促進地区を結ぶ「6つの街道」を指定整備し、街道のフォトコンテスト等を実施(H21 年度)
◎各観光協会他

⑤ 「10の寄り道」キャンペーン

滞在促進地区を基点にし、1日で回れる「10の寄り道」を指定整備し、街道のフォトコンテストとヘルシーウォーキング等を実施(H21 年度～22 年度)
◎各観光協会他

⑥ エコツアーキャンペーン

滞在促進地区を基点にし、農業体験と自然体験を考えるエコツアーの商品造成を行う。(H23 年度～24 年度)
◎NPO 法人グリーンステージ他

(3)環境保全・景観整備事業

①環境イベント

自然景観の保護と散策ルートの開発を行うためのお調査事業の実施し、登山マップの作成を行う。
(H21 年度～22 年度) ◎各観光協会他

②農村環境イベント

農村景観の自然環境保護のイベントを実施、観光関係者の環境保護の意識醸成を行い、観光と環境と農業の連携を進める。(H23 年度)
◎事務局(富良野市)・JA・NPO グリーンステージ他

③トレッキング・ウォーキングコース調査・整備

滞在促進地区から歩けるトレッキングルートやウォーキング調査を実施し、新規ルートの環境整備を進め、マップ作成等を行う。(H23 年度)
◎事務局(富良野市)・各観光協会他

(4)人材育成事業

①スキーホスト研修会

国内外のスキー客に対してスキー場や広域を案内するスキーボランティアの育成(H20 年度～21 年度)
◎ふらの観光協会他

②語学研修会

海外からのお客様への満足度を上げるため、語学研修会を開催(H21 年度～22 年度)
◎ふらの観光協会・各観光協会

③環境観光副読本の作成

小学生を対象に、環境と観光を学ぶ総合学習用環境・観光副読本の作成配布を行う。(H22 年度)
◎事務局(富良野市)・各町村

④ボランティア研修会

各観光協会間のボランティアの意識醸成を行う交流と情報交換を行う研修会を行う。(H23 年度)
◎各観光協会

(5)公共交通活性化事業

①シャトルバス運行事業

長期滞在する人を対象に市町村間のスキー場・温泉を結ぶ連絡バスの運行。
外国語表記の時刻表作成等(英語)(H20 年度～21 年度)
◎ふらの観光協会他

②ダウンタウンシャトルバス

飲食店、市街地への移動やイベント会場へのアクセスを改善し、更なる誘客を図るため、スキー場・温泉施設・夜間などの観光ニーズにあわせたシャトルバスの運行。(H20 年度～21 年度)
◎ふらの観光協会他

③多様な新ルート実験運行

弱みである交通アクセスの多様性に向けた新ルートの開発運行を行う。(H21 年度～22 年度)
ツインクルバス・夏のオープンバス・ふらのストーリーなど
◎JR 北海道・ふらのバス・商船三井フェリー一他

④サイクリングロード・フットパスの整備

「ちよっくら旅」や「10の寄り道」と連動した滞在促進地区を基点としたサイクリングロード・フットパスの調査・整備を行う。(H21 年度～22 年度)
◎各市町村・各観光協会

⑤あいのりタクシー・ベロタクシーの調査

交通アクセスの改善に向けた実験調査事業
(H22 年度)
◎各観光協会

- ⑥環境バスの導入調査・運行
環境を考えた循環バスの導入（H23年度～24年度）
◎ふらのバス・JR北海道他

(6)案内・情報発信事業

- ①VJC-I 広域観光センター運営
富良野国際センターを富良野美瑛広域観光国際センターに名称を変更し、広域圏を訪れる外国人に対するインフォメーション、アフターサービスを図り、長期滞在を快適に過ごす環境整備を行う。（H20年度～23年度）
◎ふらの観光協会他
- ②富良野美瑛広域観光インフォメーションセンター運営
広域圏を訪れる観光客に対しインフォメーションやアフターサービスを行い長期滞在を快適に過ごす環境整備を行う。（H20年度～23年度）
◎ふらの観光協会他
- ③国内広域マップクーポン付マップ
冬のキャンペーンを網羅したイベント、マップ、時刻表の作成をし、個人旅行者へのニーズのアップを図り、滞在中の移動をスムーズに行う情報マップの作成。（H20年度）
◎事務局（富良野）
冬の富良野美瑛を考える実行委員会
- ④長期滞在マニュアル作成
長期滞在者ニーズにあった地域生活との交流、また移住、ボランティアなどの情報を整備し、宿泊施設などでも対応できるように配布するマニュアルを作成し関係者の共通認識を図る。（H20年度）
◎事務局（富良野市）他
- ⑤案内看板設置
国道沿いや滞在促進地区内に案内看板を設置する（H20年度～22年度）
◎ふらの観光協会・美瑛町観光協会
- ⑥ホームページ製作
ホームページをポータルサイトへリニューアル活用（H21年度～H24年度）
また、携帯サイトを製作し情報発信を強化（H22～24）
◎事務局（富良野市）他
- ⑦ノベルティ
ノベルティを作成配布（H22年度・H24年度）
◎事務局（富良野市）他
- ⑧ポスター
6つの街道別にポスターを製作し6連張りにすることでより演出度を高める。（H22年度～24年度）
◎事務局（富良野市）他

- ⑨DVD作成
プロモーション用DVDを作成する。（H22年度）
◎事務局（富良野市）他

- ⑩国際NEWS PARER
外国人向けの日常的な演出、情報提供の為新聞を発行する。（H23年度～24年度）
◎ふらの観光協会他

(7)マーケティング・プロモーション事業

- ①アジアマーケティング
上海のTV局を招聘し、中国の市場を狙ったプロモーション番組を制作放送、販売促進を狙う。
・上海CITM2008 旅行博でのブース開設
プロモーション及びエージェントに対するセールスコールを行うと同時にニーズ調査を実施（H20年度～21年度）
◎上富良野町・各市町村・各観光協会
- ②満足度・観光消費調査
観光客の満足度、経済波及調査を行う。（H20年度～24年度）
◎事務局：（富良野市）・NPO法人グリーンステージ

6. 計画期間等

- (1) 期間
・平成20年度～平成24年度の5ヵ年
- (2) 計画の見直し手順
・毎年、年度末までに、計画の見直しを行う。
・手順については、担当者会議を開催し、事業報告および成果をふまえ内容を再検討する。

7. その他市町村又は都道府県が必要と認める事項

- ①観光地域づくり実践プラン：富良野市
・外国人客が安心して快適に滞在を満喫できる滞在型で季節格差がない質の高い観光地づくり事業
- ②まちなみナビプロジェクト：富良野市
・富良野市における「街ぐるみナビ事業」の推進
- ③シーニックバイウェイ大雪富良野ルート整備：広域
・北海道開発局との連携による景観整備事業

8. 協議会に関する資料等

- ・規約は別添
- ・協議結果は別添

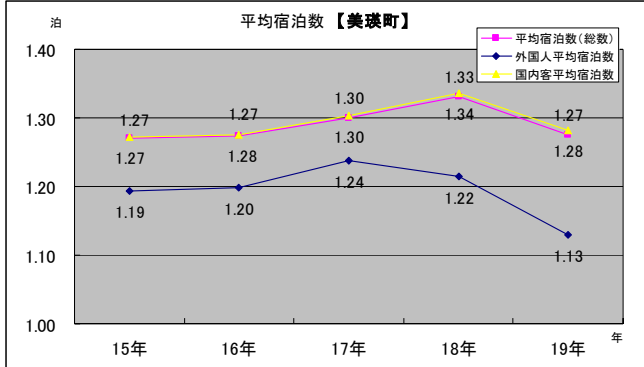
9. 住民その他利害関係者の意見を反映させるための措置及び反映内容

- ・住民意見については、観光圏整備計画を協議会HPで公表・縦覧し、意見を求め反映。

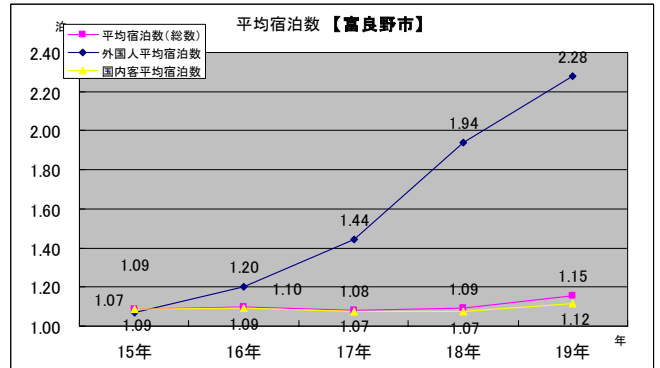
参考資料

【市町村別 平均宿泊数年度推移】

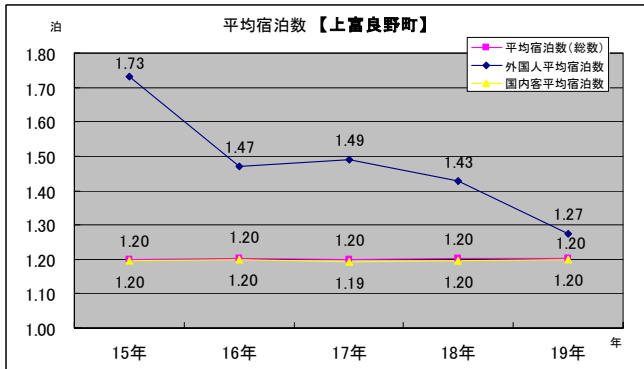
◎美瑛町



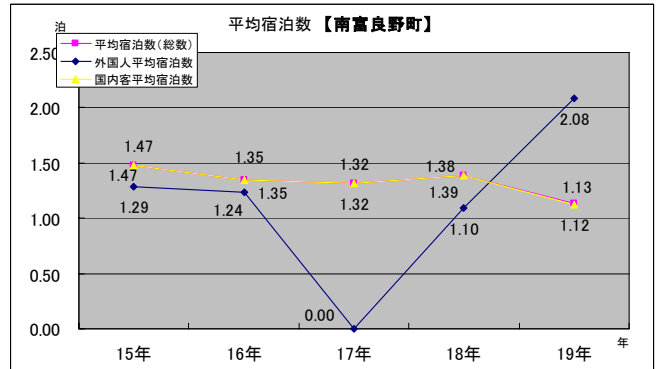
◎富良野市



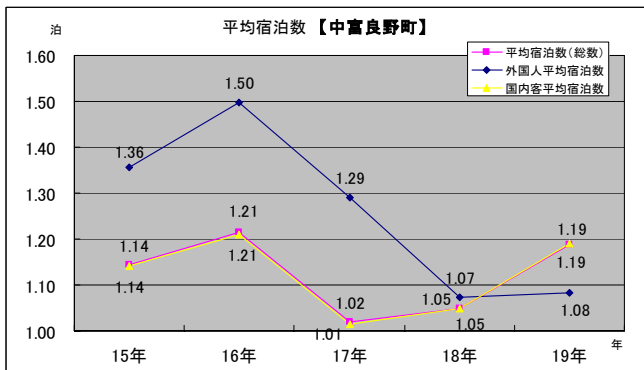
◎上富良野町



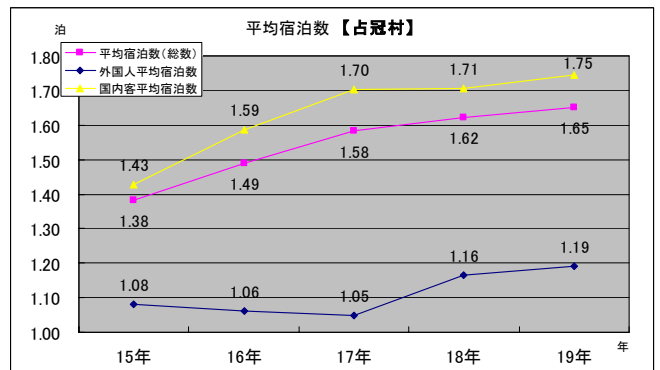
◎南富良野町



◎中富良野町

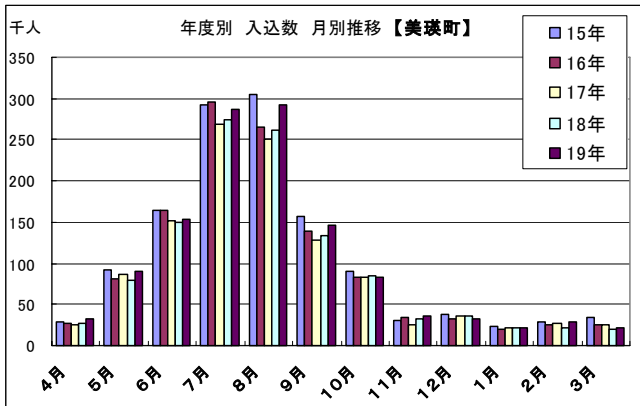


◎占冠村

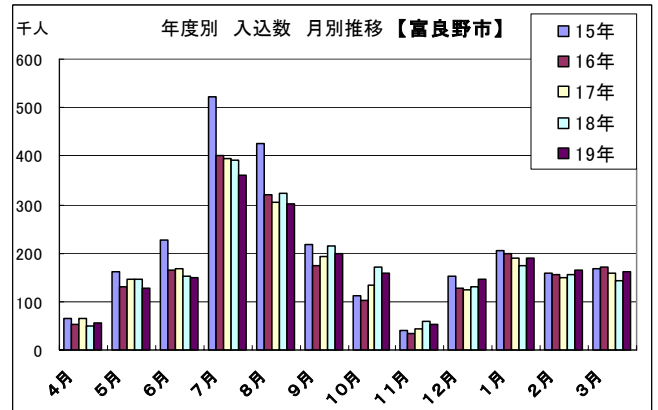


【各市町村 入込数月別推移】

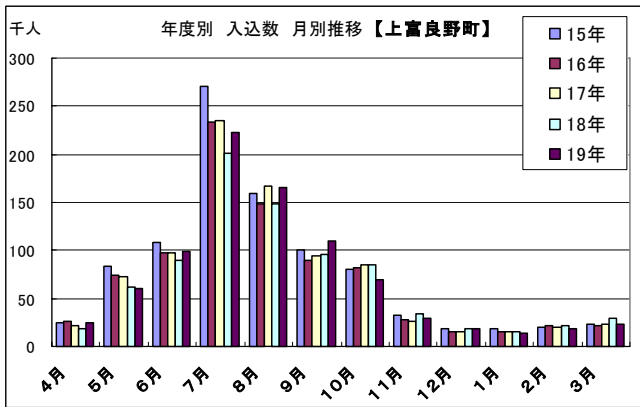
◎美瑛町



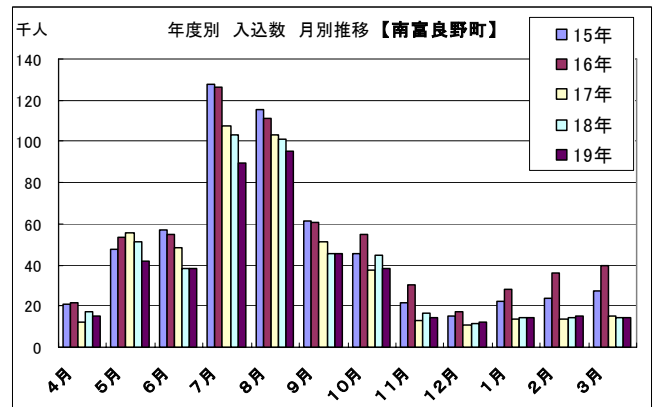
◎富良野市



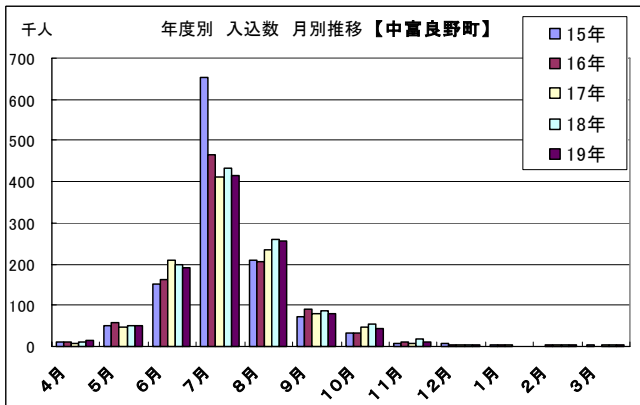
◎上富良野町



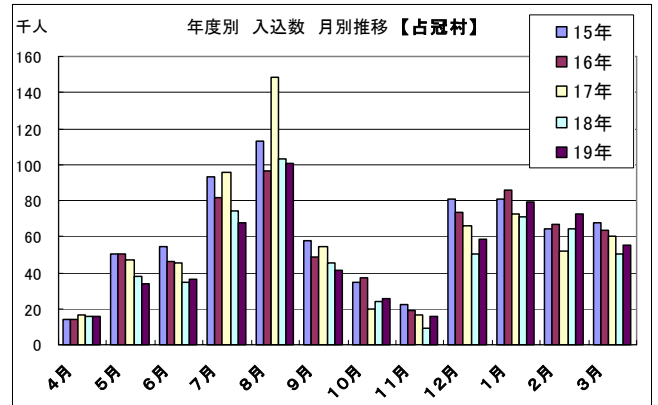
◎南富良野町



◎中富良野町

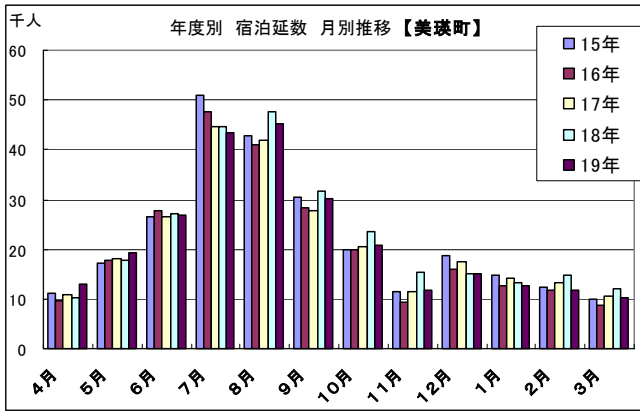


◎占冠村

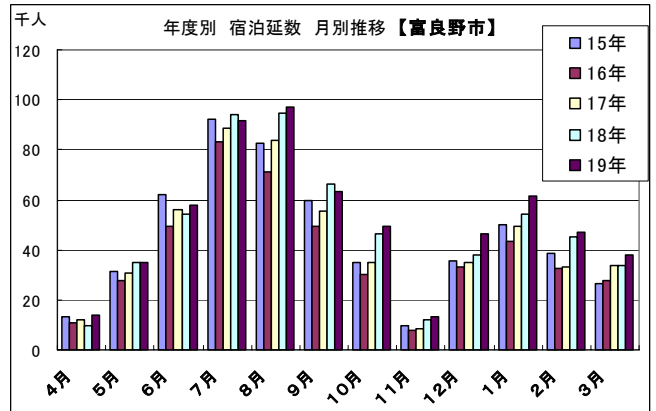


【各市町村別 宿泊延数月別推移】

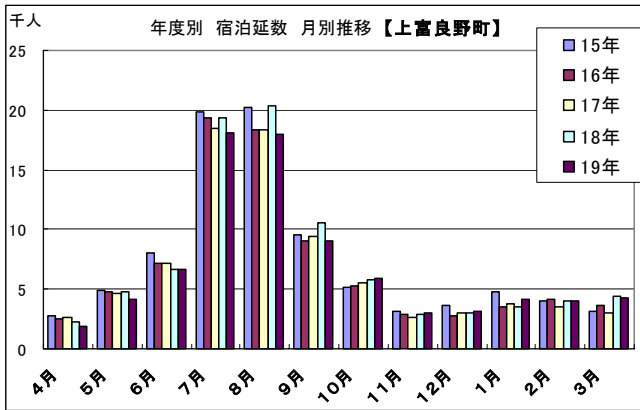
◎美瑛町



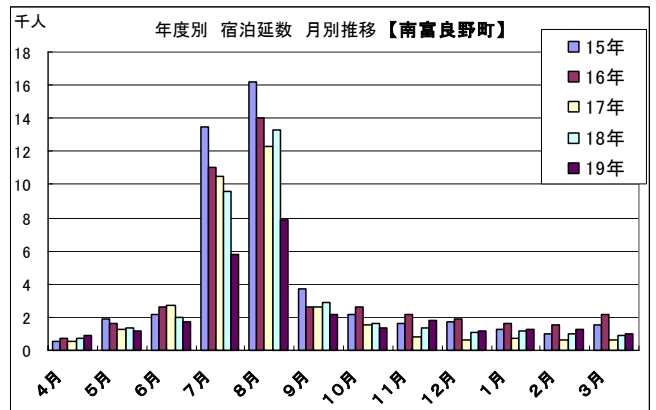
◎富良野市



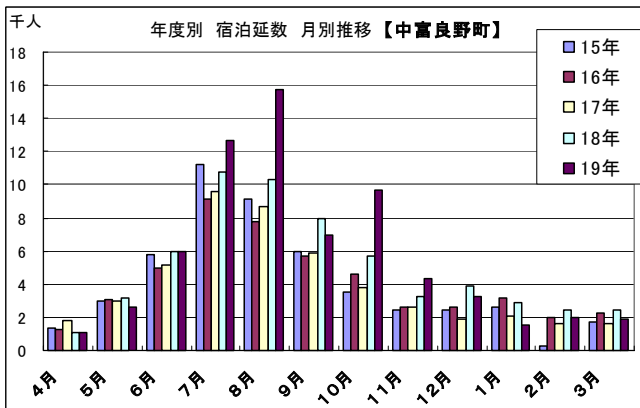
◎上富良野町



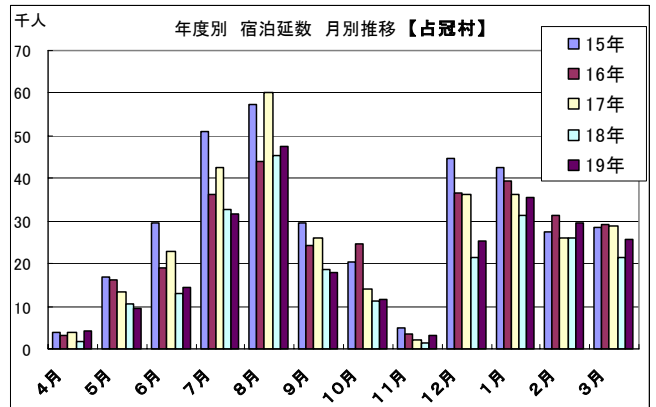
◎南富良野町



◎中富良野町

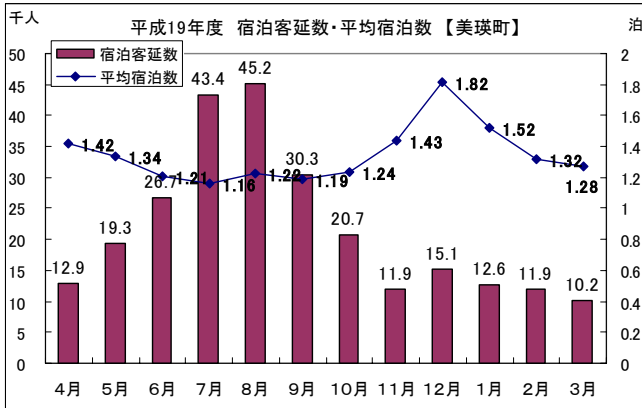


◎占冠村

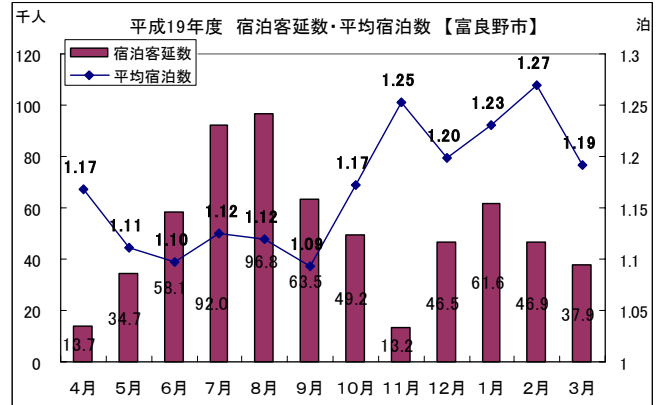


【各市町村別 宿泊客延数×平均宿泊数月別推移】

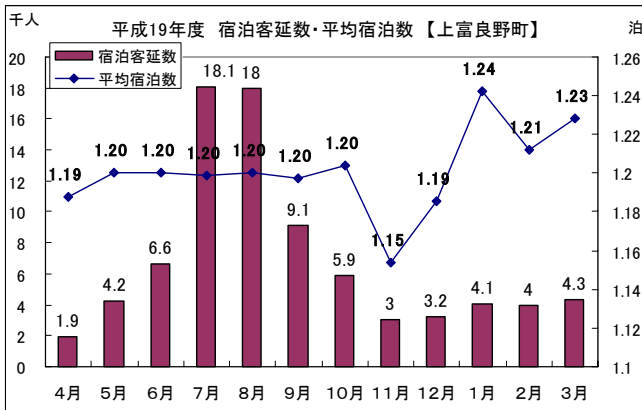
◎美瑛町



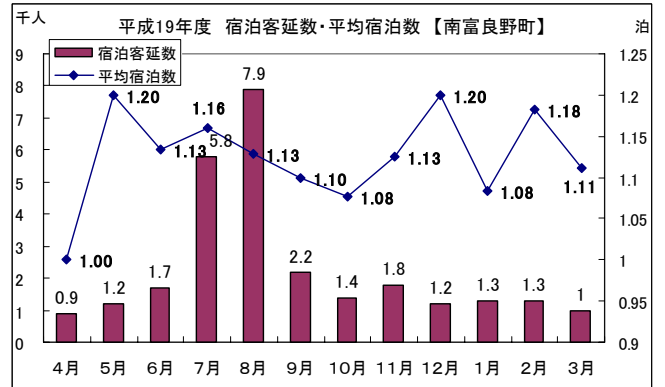
◎富良野市



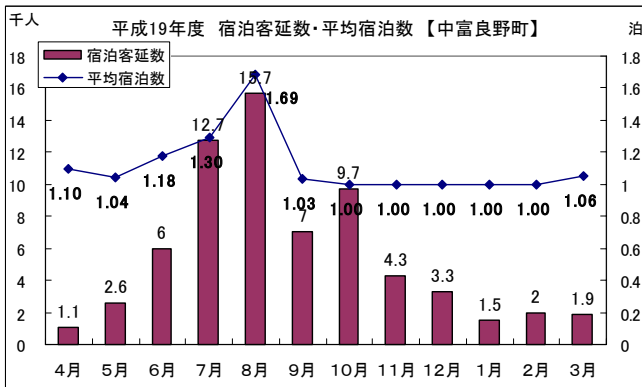
◎上富良野町



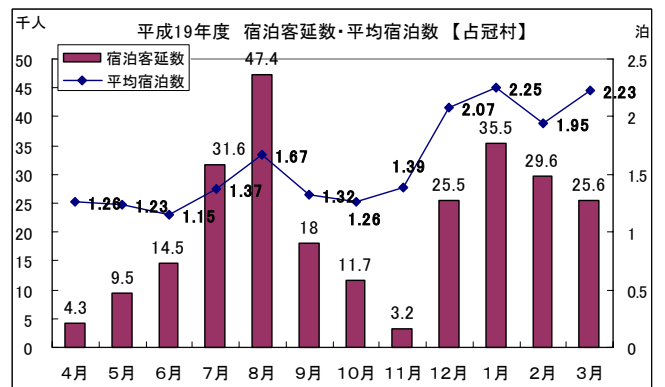
◎南富良野町



◎中富良野町

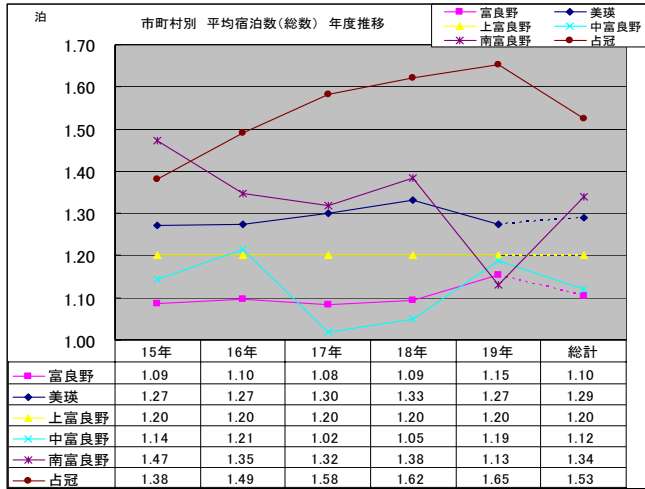


◎占冠村



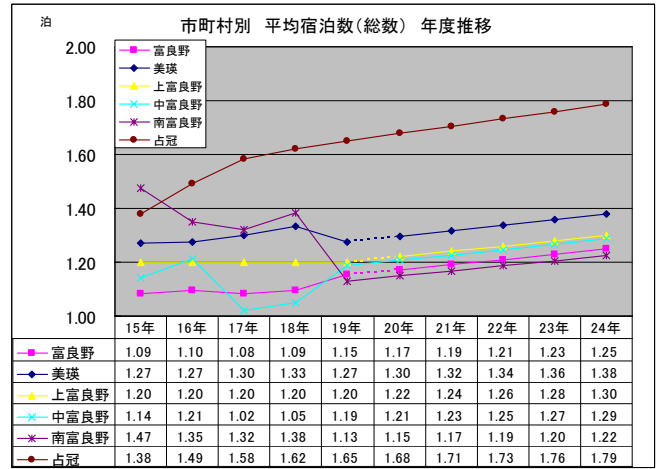
【各市町村別平均宿泊数 国内外客種別年度推移】

◎平均宿泊数

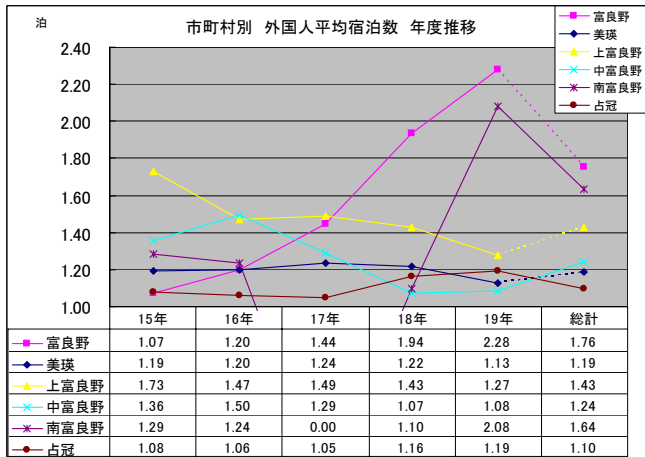


【各市町村別平均宿泊数 国内外客種別年度推移】

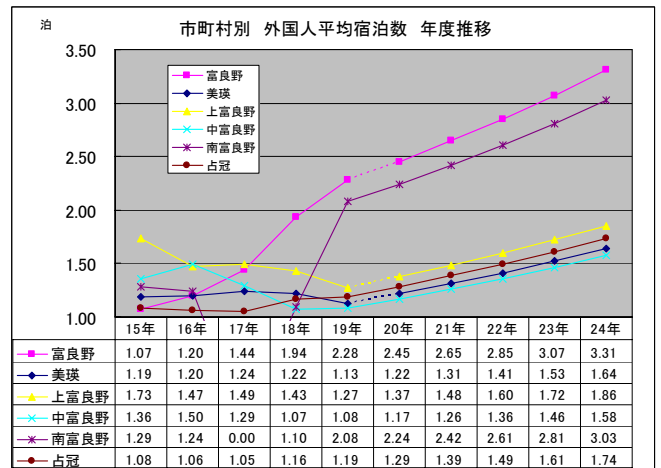
=5ヵ年目標見込み=



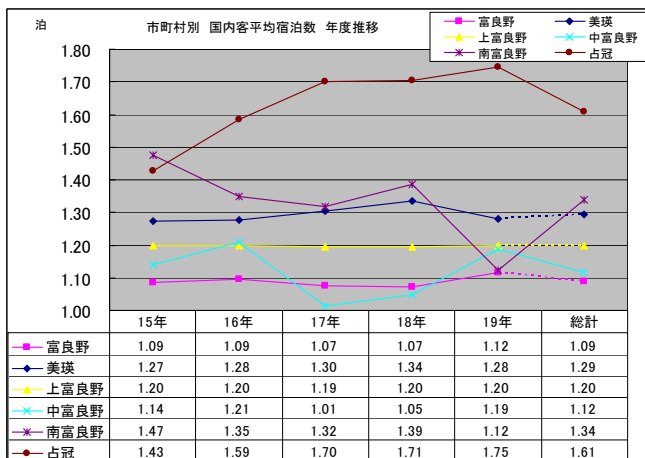
◎外国人平均宿泊数



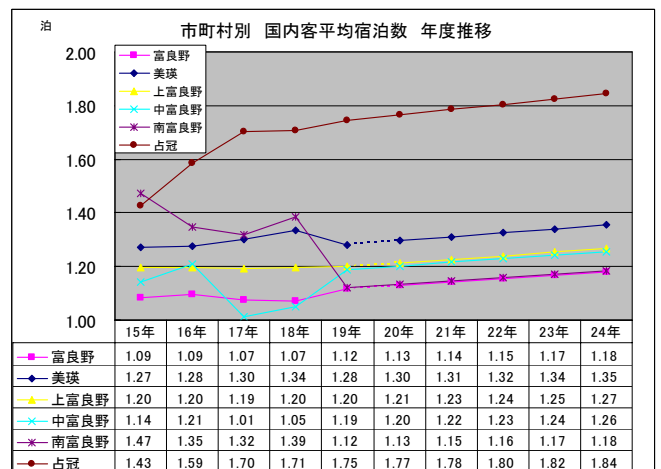
◎外国人=5ヵ年目標見込み=



◎国内平均宿泊数



◎国内=5ヵ年目標見込み=



【宿泊稼働率 国内外客種別 5ヵ年目標】

